



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 藤倉化成株式会社

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鷺野 襄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,486	△12.7	557	△48.9	589	△43.7	206	△61.2
23年3月期第1四半期	14,305	31.3	1,092	—	1,046	—	532	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 314百万円 (△38.7%) 23年3月期第1四半期 512百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.31	—
23年3月期第1四半期	16.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,301	23,807	52.7
23年3月期	41,331	23,810	53.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 22,283百万円 23年3月期 22,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,600	△6.9	1,270	△33.8	1,200	△32.7	530	△43.8	16.22
通期	53,900	2.4	3,000	△17.4	2,900	△17.0	1,500	△22.4	45.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	32,716,878 株	23年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	38,168 株	23年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	32,678,710 株	23年3月期1Q	32,678,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害と影響を受け、企業の生産活動や輸出は大幅に減少し、個人の消費は低迷いたしました。また、福島第一原子力発電所の事故に端を発する電力供給不足、原材料価格の上昇や更なる円高傾向の進行など、経営環境は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断によって、大幅な減産を余儀なくされ、国内の新車登録台数、自動車輸出台数とも前年同期と比べ大きく下回りました。住宅産業につきましては、大震災の被災地域における需要が減退いたしました。首都圏における分譲マンションなどの需要が堅調に推移し、新築住宅着工件数は前年同期を上回りました。エレクトロニクス産業につきましては、スマートフォン関連分野での市場拡大や、テレビ関連分野における地上デジタル放送完全移行への駆け込み需要などの下支えがありましたが、東日本大震災による部材の供給問題の影響による生産の遅れなどがあり、本格的な需要回復には至りませんでした。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は124億86百万円（前年同期比12.7%減）となり、営業利益は5億57百万円（同48.9%減）、経常利益は5億89百万円（同43.7%減）、四半期純利益は2億6百万円（同61.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）につきましては、英国の子会社 Fujichem Sonneborn Ltdが新たに連結対象子会社となったことなどにより、売上高は増加いたしました。国内自動車分野において、東日本大震災による自動車の減産が大きく影響を受けました。

この結果、売上高は39億87百万円（同8.7%増）となり、営業利益は30百万円（同90.0%減）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材につきましては、新築向け市場、リフォーム向け市場共おおむね需要が堅調に推移いたしました結果、売上高は28億47百万円（同9.8%増）となり、営業利益は1億97百万円（同2.3%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）の電子材料部門におきましては、海外における競争の激化や原材料価格の高騰を受け、需要が減退し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は15億45百万円（同21.5%減）となり、営業利益は2億3百万円（同29.5%減）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどの機能材料部門におきましては、主力製品が震災による生産調整の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は4億97百万円（同8.4%減）となり、営業利益は42百万円（同59.0%減）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などの化成品部門におきましては、OA機器分野における大手ユーザー向けの需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は5億99百万円（同10.9%増）となり、営業利益は66百万円（同25.4%増）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、中国・東南アジアを中心とした新興国向けでの競争の激化や、急激な為替相場の変動の影響を受け、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は30億55百万円（同39.3%減）となり、営業利益は20百万円（同87.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9億69百万円（前連結会計年度末比2.3%）増加し、423億1百万円となりました。

① 流動資産

売上減少に伴い売上債権が減少しましたが、Fujichem Sonneborn Ltd及び香港藤光有限公司の新規連結により、たな卸資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ82百万円（同0.3%）増加し、254億55百万円となりました。

② 固定資産

Fujichem Sonneborn Ltd及び香港藤光有限公司の新規連結により有形固定資産が7億16百万円、全体で9億51百万円増加などの結果、前連結会計年度末と比べ8億87百万円（同5.6%）増加し、168億45百万円となりました。

③ 流動負債

短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ3億52百万円（同2.7%）増加し、131億73百万円となりました。

④ 固定負債

退職給付引当金の計上などにより、前連結会計年度末と比べ6億19百万円（同13.2%）増加し、53億20百万円となりました。

⑤ 純資産

配当金の支払いによる利益剰余金及び少数株主持分の減少などにより前連結会計年度末と比べ2百万円（同0.0%）減少し、238億7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.9%から52.7%へと1.2ポイント減少となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より76銭増加し、681円87銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,536,786	7,720,198
受取手形及び売掛金	10,847,562	10,800,317
商品及び製品	3,082,613	3,840,852
仕掛品	49,672	71,820
原材料及び貯蔵品	1,680,983	1,805,758
繰延税金資産	633,197	512,923
その他	615,063	817,697
貸倒引当金	△72,530	△114,152
流動資産合計	25,373,346	25,455,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,287,332	7,556,520
減価償却累計額	△3,772,652	△3,849,663
建物及び構築物（純額）	3,514,680	3,706,857
機械装置及び運搬具	9,310,774	10,331,284
減価償却累計額	△6,631,247	△7,551,985
機械装置及び運搬具（純額）	2,679,527	2,779,299
工具、器具及び備品	2,886,719	3,207,339
減価償却累計額	△2,425,809	△2,724,714
工具、器具及び備品（純額）	460,910	482,625
土地	3,902,048	4,136,325
リース資産	265,721	310,310
減価償却累計額	△89,143	△120,094
リース資産（純額）	176,578	190,216
建設仮勘定	110,874	500,270
有形固定資産合計	10,844,617	11,795,592
無形固定資産		
のれん	—	355,020
ソフトウェア	69,830	115,753
その他	904,443	938,861
無形固定資産合計	974,273	1,409,634
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,762	1,256,952
長期貸付金	115,384	68,255
繰延税金資産	686,195	711,683
その他	1,409,880	1,648,713
貸倒引当金	△44,079	△45,448
投資その他の資産合計	4,139,142	3,640,155
固定資産合計	15,958,032	16,845,381
資産合計	41,331,378	42,300,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,892,137	6,636,574
短期借入金	2,049,548	2,920,661
1年内償還予定の社債	845,000	845,000
未払法人税等	736,421	224,197
未払費用	548,584	783,730
賞与引当金	550,546	332,988
リース債務	63,931	69,502
その他	1,134,737	1,360,614
流動負債合計	12,820,904	13,173,266
固定負債		
社債	1,565,000	1,565,000
繰延税金負債	220,222	324,887
退職給付引当金	2,125,840	2,577,004
長期未払金	483,857	464,939
リース債務	124,327	147,586
その他	181,287	240,615
固定負債合計	4,700,533	5,320,031
負債合計	17,521,437	18,493,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	12,244,967	12,216,243
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	22,612,318	22,583,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,082	42,666
為替換算調整勘定	△427,474	△343,581
その他の包括利益累計額合計	△354,392	△300,915
少数株主持分	1,552,015	1,524,818
純資産合計	23,809,941	23,807,497
負債純資産合計	41,331,378	42,300,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	14,305,116	12,485,958
売上原価	10,565,203	8,972,997
売上総利益	3,739,913	3,512,961
販売費及び一般管理費	2,648,408	2,955,519
営業利益	1,091,505	557,442
営業外収益		
受取利息	2,987	1,079
受取配当金	21,450	24,823
固定資産賃貸料	17,927	16,452
為替差益	—	9,513
その他	19,221	13,447
営業外収益合計	61,585	65,314
営業外費用		
支払利息	27,721	24,383
為替差損	62,281	—
固定資産税	3,349	2,790
減価償却費	626	634
その他	12,908	6,193
営業外費用合計	106,885	34,000
経常利益	1,046,205	588,756
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16,969	—
特別利益合計	16,969	—
特別損失		
災害による損失	—	16,613
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,740	—
特別損失合計	51,740	16,613
税金等調整前四半期純利益	1,011,434	572,143
法人税、住民税及び事業税	303,786	205,260
法人税等調整額	87,622	119,153
法人税等合計	391,408	324,413
少数株主損益調整前四半期純利益	620,026	247,730
少数株主利益	87,677	41,386
四半期純利益	532,349	206,344

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	620,026	247,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148,199	△30,727
為替換算調整勘定	40,050	96,694
その他の包括利益合計	△108,149	65,967
四半期包括利益	511,877	313,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,186	259,821
少数株主に係る四半期包括利益	88,691	53,876

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,666,433	2,592,307	1,965,841	542,745	539,948	4,997,842	14,305,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,842	53	—	37,055	38,950
計	3,666,433	2,592,307	1,967,683	542,798	539,948	5,034,897	14,344,066
セグメント利益	297,577	192,559	288,305	102,398	52,500	158,372	1,091,711

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,091,711
セグメント間取引消去	△206
四半期連結損益計算書の営業利益	1,091,505

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,987,152	2,847,164	1,541,623	497,299	598,558	3,014,162	12,485,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,945	25	—	40,904	43,874
計	3,987,152	2,847,164	1,544,568	497,324	598,558	3,055,066	12,529,832
セグメント利益	29,739	196,917	203,135	41,977	65,842	19,762	557,372

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	557,372
セグメント間取引消去	70
四半期連結損益計算書の営業利益	557,442

3. 報告セグメントごとののれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コーティング」セグメントにおいて、Fujichem Sonneborn Ltdは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において383,493千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。